

# 和嶋さん(由利工業3年)電験3種に合格



第3種電気主任技術者の免状を手にする和嶋さん

電気主任技術者は電気事業法に基づき国家資格。事業用電気設備の設置者は、電気主任技術者を置かなければならない、という規定がある。扱える電気設備の規模により1〜3種の三つに分かれる。

入学時から、資格を取得して自分自身のアピールポイントを増やそうと考えていた。1年生でガソリンなどの引火性液体を取り扱うための国家資格「危険物取扱者乙種第4類」を取得。達成感を味わい、より難しい資格に挑戦しようと、電験3種取得を目指した。

電気設備の保守・監督を行うための国家資格「第3種電気主任技術者」試験(電験3種)に、由利工業高校電気科3年の和嶋秀明さんが合格した。電験3種は合格率10%台の難関資格として知られ、同校生徒の合格は初めて。和嶋さんは「先生からは過去問をもらい、家族には身の回りのサポートをしてもらい、周りに支えられて取れた資格。感謝している。取得できてよかった」と喜びを語った。

## 学校初「周りの支えに感謝」

和嶋さんは4月から東北電力に就職する予定。「電力の安定供給に努め、多くの人に安心した生活を届けていきたい」と前を向いていた。

(神谷紗耶加)

試験は理論、電力、機械、法規の4科目。2年生だった昨年3月に受験した時は、法規以外の3科目をパス。同8月の試験で法規も合格点を取り、資格取得の夢をかなえた。

和嶋さんは「勉強すればするほど知らないことが出てきて、(知識の範囲が広がり)自分が成長していることを実感できた。楽しみながら勉強していた」と振り返る。

資格試験前は、午前3時に起床し6時まで勉強。午後4時半から6時半まで部活動で汗を流し、夜は就寝前に少し勉強して、8時には寝る生活を送っていたという。